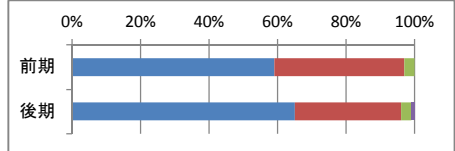


H29度 佐賀大学文化教育学部附属小学校 前期・後期学校評価比較

1 学校や学級の目標(がんばること)を知っていますか。

【児童】

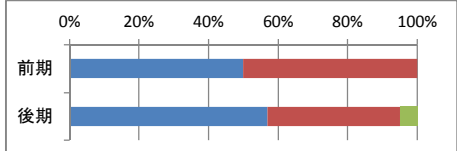
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	59%	38%	3%	0%	100%
後期	65%	31%	3%	1%	100%



1 学校は、学校(級)便り等で学校の教育目標や教育方針を分かりやすく伝えている。

【職員】

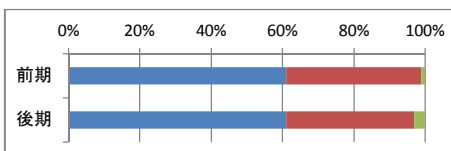
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	50%	50%	0%	0%	100%
後期	57%	38%	5%	0%	100%



1 学校は、学校(級)便り等で、教育目標や教育方針を分かりやすく伝えている。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	61%	38%	1%	0%	100%
後期	61%	36%	3%	0%	100%

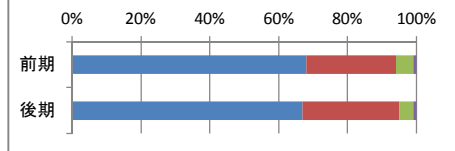


○学校の全教職員が学校(級)便り等を通じて、教育目標や教育方針を発信しようと努力している。それを保護者の97%が、分かりやすく伝えているとらえている。今後も、積極的な発信に心がける学校と、学校の取り組みに関心をもつ保護者との関係を継続したい。

2 学校便りや学級便りなど、学校からのプリント類をお家の人に渡していますか。

【児童】

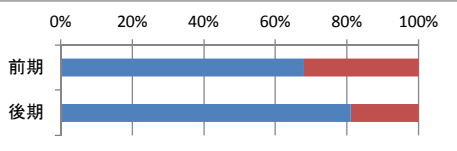
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	68%	26%	5%	1%	100%
後期	67%	28%	4%	1%	100%



2 学校は、学校便り、学級通信やHP等で学校や学級の様子を伝えるように努めている。

【職員】

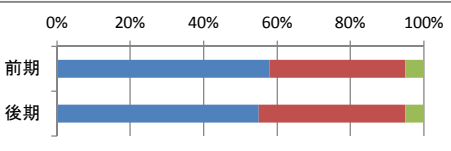
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	68%	32%	0%	0%	100%
後期	81%	19%	0%	0%	100%



2 学校では、学校・学年・学級通信・ホームページ等で学校の取り組みや子どもの様子を伝えている。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	58%	37%	5%	0%	100%
後期	55%	40%	5%	0%	100%

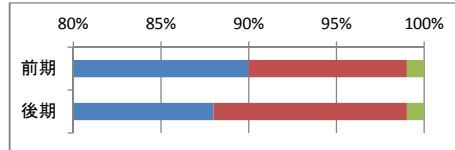


○職員は100%、保護者は95%が、学校は通信やホームページで学校や学級での児童の様子を知らせようと努めているとらえている。
▲しかし、5%の児童は、プリント類を確実に渡すことができていない。保護者に確実に渡すように継続した指導が必要である。また、学校の情報や取組等保護者が内容について考えていくことも必要である。

3 学校の行き帰りは、交通事故や知らない人に気をつけたり、寄り道をしたりしないようにしていますか。

【児童】

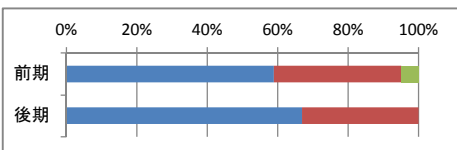
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	90%	9%	1%	0%	100%
後期	88%	11%	1%	0%	100%



3 学校は、交通安全、危険箇所等に気を配り、火災・地震・水害・不審者への対応について指導を行っている。

【職員】

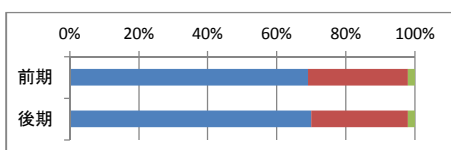
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	59%	36%	5%	0%	100%
後期	67%	33%	0%	0%	100%



3 学校は、交通安全や災害(大雨 台風 地震)、不審者等、子どもの安全を考えて対応している。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	69%	29%	2%	0%	100%
後期	70%	28%	2%	0%	100%

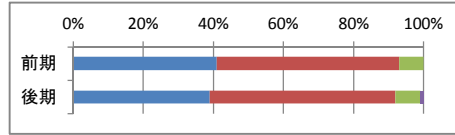


○年間を通して、登下校における交通事故や災害、不審者等の安全面について、99%の児童ができて回答している。保護者の98%が学校の対応についても安全に配慮した対応ができていると回答している。
今後も児童には様々な側面からの危機予知能力を児童に身に付けさせていく必要がある。日常的に実践的な訓練や安全指導を行うとともに、学校情報携帯メールによる情報発信、緊急時の対応マニュアルの整備を継続して進めていく。

4 授業中は、先生の話をしっかり聞き、自分の考えを進んで伝えていますか。

【児童】

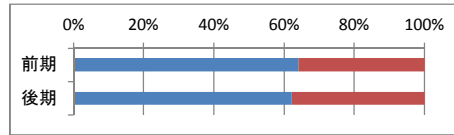
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	41%	52%	7%	0%	100%
後期	39%	53%	7%	1%	100%



4 我々は、授業力の向上に努め、子どもたちが学力を身につけるような効果的な授業を行っている。

【職員】

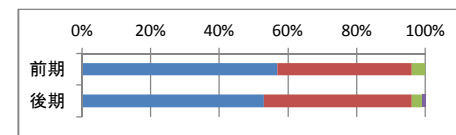
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	64%	36%	0%	0%	100%
後期	62%	38%	0%	0%	100%



4 学校は、授業力の向上に努め、子どもに学力を身につける効果的な授業を行っている。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	57%	39%	4%	0%	100%
後期	53%	43%	3%	1%	100%

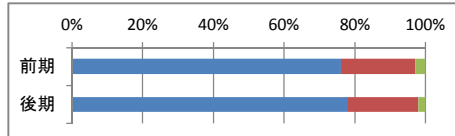


▲全ての教職員が、授業力の向上に努め、児童に学力を身に付けさせる効果的な授業を行っていると回答している。しかし、前期と同様、保護者の4%は「あまりできていない」と回答している。児童の実態に応じ、個々に応じた問題集を与えたり、保護者面談を取り入れたりするなど指導の改善を行う。

5 学習の準備や宿題をきちんとしていますか。

【児童】

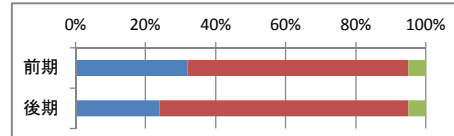
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	76%	21%	3%	0%	100%
後期	78%	20%	2%	0%	100%



5 我々は、学習の準備、話し方、聴き方等学習習慣の定着に努めている。

【職員】

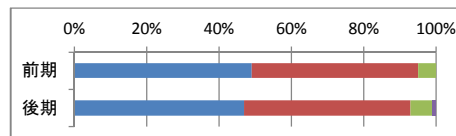
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	32%	63%	5%	0%	100%
後期	24%	71%	5%	0%	100%



5 学校は、学習準備や子どもの話し方、聞き方等、子どもの学習習慣の定着に努めている。

【保護者】

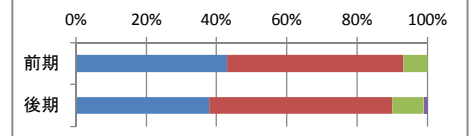
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	49%	46%	5%	0%	100%
後期	47%	46%	6%	1%	100%



5 家庭では、翌日の学習準備や宿題について、子どもに声かけを行い、結果についても確認している。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	43%	50%	7%	0%	100%
後期	38%	52%	9%	1%	100%



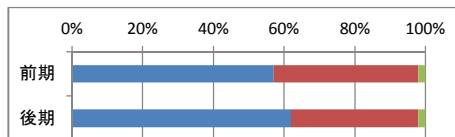
▲授業力向上研修会の参観者からの感想にも「発表するときの声の大きさ」が課題としてあがっていた。「話し方・聞き方」の指導については「主体的で対話的で深い学び」をめざした校内研究をもとに、授業改善に取り組んでいく必要がある。

▲学習準備や宿題の声かけについて、「(あまり)できていない」と回答した保護者が前期より3ポイント増え10パーセントになっている。児童の実態や家庭と取り組みを共有しながら指導を徹底していく。

6 月の生活目標や自分や学校の「あたりまえ」を守っていますか。

【児童】

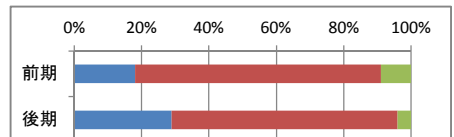
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	57%	41%	2%	0%	100%
後期	62%	36%	2%	0%	100%



6 我々は、挨拶・後始末・歩き方など生活習慣の定着に努めている。

【職員】

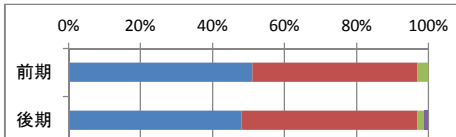
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	18%	73%	9%	0%	100%
後期	29%	67%	4%	0%	100%



6 学校は、挨拶や返事、後始末等、生活習慣の定着に努めている。

【保護者】

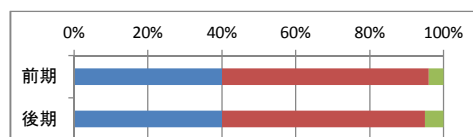
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	51%	46%	3%	0%	100%
後期	48%	49%	2%	1%	100%



6 家庭では、挨拶や返事、後始末、自力登校等、生活習慣の定着に努めている。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	40%	56%	4%	0%	100%
後期	40%	55%	5%	0%	100%



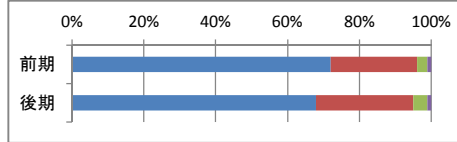
○前期の課題の1つであった、スリッパ並べや挨拶、廊下歩行等、「生活習慣を定着させる指導」については、教職員、児童ともに意識の向上が図られている。

▲バスの乗り方や車の送迎については、地域等からの苦情が多い。育友会や家庭を巻き込んだ啓発、取り組みや対策を今後も継続していく。

7 学校や家で誰とも仲良く勉強したり遊んだりしていますか。

【児童】

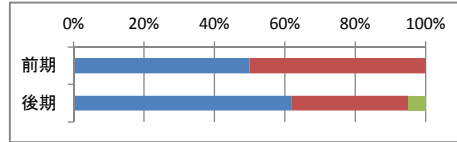
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	72%	24%	3%	1%	100%
後期	68%	27%	4%	1%	100%



7 我々は、思いやりを育てる指導を行うとともに、いじめの防止、早期発見・解決に努めている。

【職員】

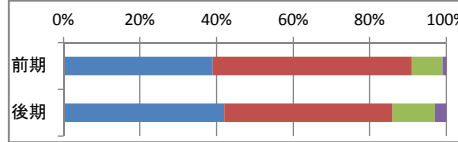
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	50%	50%	0%	0%	100%
後期	62%	33%	5%	0%	100%



7 学校は、思いやる心を育てたり、いじめの未然防止、早期発見・解決に努めたりしている。

【保護者】

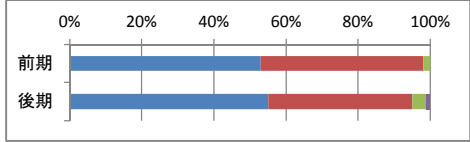
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	39%	52%	8%	1%	100%
後期	42%	44%	11%	3%	100%



7 家庭では、子どもに誰とも仲良く学習したり生活したりするよう声かけをしている。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	53%	45%	2%	0%	100%
後期	55%	40%	4%	1%	100%

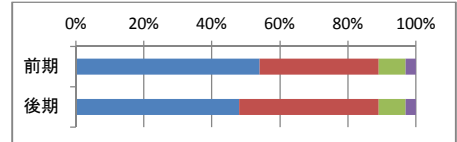


▲児童の5%が誰とも仲良く勉強や遊ぶことについて、「(あまり)できていない」と回答されている。割合の問題ではなく、そのような思いを抱いている保護者、児童が1人でもいることを重く受け止める必要がある。
▲保護者の14%が思いやる心の育成やいじめの防止・早期発見・解決について「(あまり)できていない」と回答されており、前期9%よりも増えている。毎月の「いじめ調査」について、方法や内容等の改善しながら継続する必要がある。一方で、児童の言動や表情の変化を敏感に察知し、早期発見・早期解決に努めるとともに、保護者と情報を共有しながら、組織として迅速かつ細やかに対応していく。

8 (低)お家で自分の仕事を決めて、忘れずにしていますか。
(高)児童会、委員会、縦割り活動で自分の役割を自覚し、学校や下級生のために活動できていますか。

【児童】

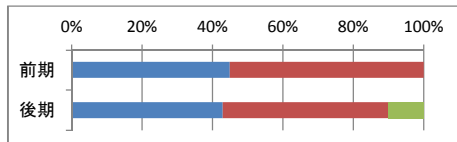
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	54%	35%	8%	3%	100%
後期	48%	41%	8%	3%	100%



8 我々は、児童会や委員会、縦割り活動を通して、児童の自治力を育成・向上させている。

【職員】

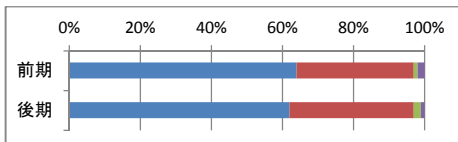
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	45%	55%	0%	0%	100%
後期	43%	47%	10%	0%	100%



8 学校は、学級活動や児童会活動、縦割り活動等を通して、子どもの自治力を育てている。

【保護者】

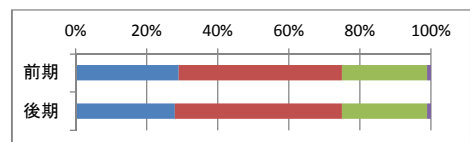
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	64%	33%	1%	2%	100%
後期	62%	35%	2%	1%	100%



8 家庭では、子どもの仕事や役割を決めて、責任を持たせてさせている。

【保護者】

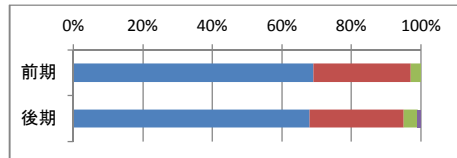
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	29%	46%	24%	1%	100%
後期	28%	47%	24%	1%	100%



▲家庭において、自分の仕事を決めて取り組むことができている児童が少なくないことが窺える。家庭での手伝いや学校での仕事や役割は、児童の自立を促す上では重要な教育活動である。懇談会や通信等で啓発するとともに、家庭の実践につなげるために、授業においても積極的に取り組んでいきたい。

9(低)自分が決めたことは、最後までがんばろうとしていますか。
(高)縦割り掃除やなかよし活動で低学年の人が困らないよう、気を配れていますか。

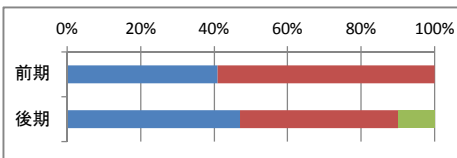
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	69%	28%	3%	0%	100%
後期	68%	27%	4%	1%	100%



9 我々は、縦割り掃除、なかよし活動を通して、リーダー性を育成している。

【職員】

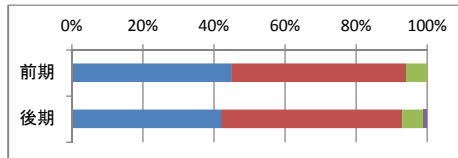
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	41%	59%	0%	0%	100%
後期	47%	43%	10%	0%	100%



9 学校は、子どもの自主性を尊重しながら、最後までやり遂げるようなリーダー性を育てている。

【保護者】

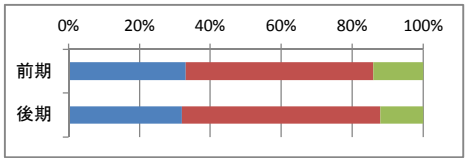
	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	45%	49%	6%	0%	100%
後期	42%	51%	6%	1%	100%



9 家庭では、子どもの自主性を尊重しながら、最後までやり遂げられるよう見守っている。

【保護者】

	よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	計
前期	33%	53%	14%	0%	100%
後期	32%	56%	12%	0%	100%

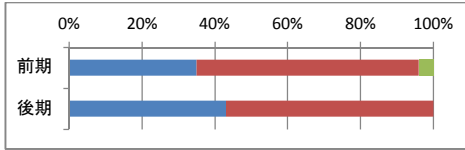


○縦割り掃除やなかよし活動により、リーダー性ややりぬく力が育っている。今後も学校だけではなく、「自分で決めさせること」「自分が決めたことは続けさせること」の大切さを家庭にも情報発信し、保護者と共に指導を続けていきたい。

10 我々は、育友会活動に対し、積極的に関わり、必要に応じて相談に乗っている。

【職員】

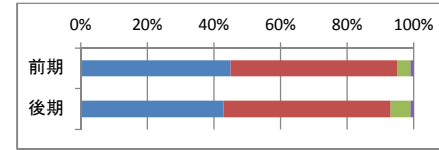
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	35%	61%	4%	0%	100%
後期	43%	57%	0%	0%	100%



10 学校は、育友会活動に対し、積極的に関わり、必要に応じて相談に乗っている。

【保護者】

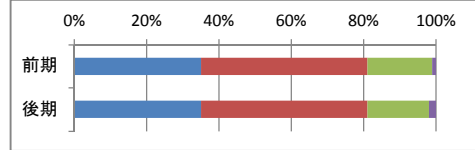
	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	45%	50%	4%	1%	100%
後期	43%	50%	6%	1%	100%



10 育友会活動に積極的に関わり、巡回活動や委員会・ボランティアに参加している。

【保護者】

	よく できている	大体 できている	あまり できていない	できていない	計
前期	35%	46%	18%	1%	100%
後期	35%	46%	17%	2%	100%



○育友会活動について、職員の意識は、前期に比べ10ポイント上がっている。しかし、保護者の意識に変化は見られない。ボランティアをはじめ、学校に対し非常に協力的である育友会の伝統を維持するために、職員も積極的に相談に応じていきたい。

▲年間通して保護者の19%が育友会活動への関わりが「(あまり)できていない」と回答している。仕事や家庭の都合等により屋間の活動・会合に参加できない実情もあると思われる。